



Japan Society of Civil Engineers
International Activities Center

国際センター通信 (No. 22)

会長就任挨拶 あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く

土木学会は、1879年（明治12年）に設立された工学会を前身として、1914年（大正3年）に設立され、今年100周年を迎えました。初代会長である古市公威先生は第1回総会会長講演において、土木工学の総合性を強調され、そして土木は分野の外に広がっていくことが必要だと述べました。工学会から、他の専門分野が次々と独立したのに遅れ、工学会に残った会員の過半を土木技術者が占めるに至って、土木学会が設立されたのです。しかし、これは土木の本質を認識していたことの証左として、むしろ私たちは誇りしたいと思います。



土木学会 会長
磯部 雅彦

土木工学は美しく、安全で、いきいきした国土をつくり、持続可能な社会を実現して、人々が飢えることなく、危険にさらされることなく、環境に不快を感じることもなく、それぞれの幸せを求めて生きられるようするための総合的な工学です。古市公威初代会長の講演の趣旨を十分に理解し、橋本前会長を始めとする歴代会長の方針を引き継ぐことを基本として、土木分野の周辺のすべての境界をひらき、他分野の知識と知恵を吸収し、むしろ他分野の中に舞台を広げながら、人材を育成し、一つ一つの課題に取り組むことを通じて、究極的に目指すべき持続可能な社会を実現するための礎を築くという、理想に向かって進んで行きたいと思えます。

今年11月21日には東京国際フォーラムで土木学会100周年記念式典を行うべく準備を進めています。会員はもとより一般市民の方にも興味ある式典として企画しています。この式典を始めとする100周年記念行事を通じて、土木の重要性と方向性を訴えていきたいと思えます。どうか会員皆様のご支援をよろしく願いいたします。

調査研究部門活動紹介 第2回 岩盤力学委員会

岩盤力学委員会は、今から約50年前の1963年に設立された非常に歴史のある委員会であり、岩盤の力学理論・試験法など基礎的な分野からダム、トンネル、橋梁基礎、地下発電所などの大規模地下空洞、斜面など岩盤を対象に建設される構造物の調査・設計・施工・維持管理など幅広い分野を対象に活動を行ってきております。これまでにその活動成果は技術指針・事例集などの形でまとめられ、広く社会に貢献してきたところであります。

しかし、近年は岩盤力学が貢献できる大型プロジェクトが減少してきたこともあって、活動の沈滞化が懸念されるようになり、10年ほど前からは岩盤力学分野の活性化のための検討を行ってまいりました。その結果、岩盤力学委員会の活動の方向性として、(1)新分野への挑戦 (2)社会の新たな要請への対応 (3)技術成果の集約・伝承とその発信の3つを考えると、数年前からは新たな取り組みを進めてきております。具体的には、新分野への挑戦では、異分野との連携・融合を目指した国際リニアコライダー施設(図-1)の土木技術に関する研究、社会の新たな要請への対応では、大規模な地震への対策として大深度地下構造物の耐震性評価に関する研究、技術成果の集約・伝承では設計・施工・維持管理の考え方を伝えて行く必要がある大規模地下空洞の建設・維持管理事例集の作成などです。また、平成25年度からは安全で安心な社会の実現という社会の要請に対応すべく、岩盤斜面と岩盤動力学という新しい2つのテーマについて小委員会を設置し、活動を始めております。

岩盤力学委員会では、今後も、世の中の変化や社会のニーズを見据えながら新しいテーマを掘り起こすことや、新しい分野へチャレンジすることが重要であると考えており、社会インフラの維持管理、環境・エネルギー問題、国際活動への支援など岩盤力学が貢献できる分野について議論を行い、取り組んで参りたいと考えております。

岩盤力学委員会 委員長
国土技術政策総合研究所 真下 英人



図-1 リニアコライダー概念図 (高エネルギー加速器研究機構提供)

韓国分会だより

今年 8 月 28 日～30 日に韓国の釜山において、大韓土木学会釜山支部、土木学会西部支部および台湾公共工程学会(Taiwan Society & Public work)の 3 団体により、日・韓・台国際ナショナル・カンファレンス（土木技術者国際会議）を開催します。今回で通算 5 回目の開催となりますが、本稿にてこの国際ナショナル・カンファレンスの歩みについてご紹介したいと思います。



韓国分会長 李 東郁

大韓土木学会釜山支部および土木学会西部支部による 2 カ国の技術交流協定は、2004 年 11 月 12 日に締結されました。当時の釜山支部長は Kim, Yong-Hee 氏、土木学会西部支部長は田中征夫氏でした。

しかしながら、この技術交流協定を結んでから双方の連絡が十分取られなくなり、次第に交流もなくなりました。2006 年 8 月ごろ、ようやく相互の連絡が取れ、11 月 24 日釜山支部（釜山メトロポリタンシティ国際会議室）にて第 1 回ジョイントセミナーを開催しました。さらに 2 年後の 2008 年 8 月 28 日～29 日土木学会西部支部（九州大学箱崎キャンパス）にて、第 2 回ジョイントセミナーが開催されました。当時の釜山支部長は私でしたが、2 年後の 2010 年には釜山支部にて開催することを決め、2010 年 8 月 26 日～27 日釜山支部(Pukyong Univ.)にて第 3 回ジョイントセミナーを開催しました。この時、私と九州大学小松利光教授は会合し、今後はジョイントセミナーを 2 年ごとに定期的に開催することを取り決めました。

2 カ国によるジョイントセミナーは軌道に乗ってきましたが、土木学会韓国分会長であった私と九州大学小松利光教授が 2011 年 9 月に対談し、次回からは台湾公共工程学会に参加してもらい、3 カ国の団体による国際ナショナル・カンファレンスを開催することを合意しました。そこで、私と大韓土木学会釜山支部長の Kang In-Joon 氏は 2011 年 2 月 20 日に、九州大学の小松利光教授は 2012 年 5 月にそれぞれ台湾を訪問し、台湾分会長である Der-Her Lee 教授（Cheng-Kung Univ.）と幹事長の Wu-Te Ko 助教授（Cheng Shiu Univ.）にお会いしました。そして 2012 年 8 月の第 4 回国際ナショナル・カンファレンスには台湾公共工程学会にオブザーバーとして参加してもらうことを合意しました。また、2 年後の 2014 年 8 月の国際ナショナル・カンファレンスでは、正式に参加してもらい一緒に講演することとしました。今年、2014 年 8 月 28 日～30 日に韓国 Pukyong Univ. にて土木学会西部支部、大韓土木学会釜山支部および台湾公共工程学会の 3 団体により、国際ナショナル・カンファレンスが開催されます。



第 4 回国際ナショナルカンファレンス
熊本交通センターにて



李韓国分会長（前列左から 4 番目）

このような努力のおかげで、これまでの大韓土木学会釜山支部、土木学会西部支部、そして台湾公共工程学会の3団体が参加する国際・カンファレンスが成功裏に開かれるようになりました。これは小松利光教授、Der-Her Lee 教授、Wu-Te Ko 助教授、そして私がこれまで土木学会海外支部会議で何度も会い、重ねて協議を繰り返した結果だと思っています。これからも3団体の活発な交流と発展が継続することを願います。

イベントカレンダー

- 2014/8/26～28・・・インドネシア土木構造工学会（HAKI）年次大会（インドネシア - ジャカルタ）
- 2014/8/28～30・・・大韓土木学会－土木学会－台湾公共工程学会国際・カンファレンス（韓国 - 釜山） <http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/index.html>
- 2014/9/1～2・・・2014年構造工学特別夏期講座（東京 - 土木学会）
<http://www.jsce.or.jp/committee/struct/intedu/index.html>
- 2014/9/10・・・第16回国際・サマーシンポジウム（大阪 - 大阪大学）
<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/56>
- 2014/9/10～13・・・国際若手技術者ワークショップ&テクニカルツアー（13日）（大阪 - 大阪大学）
<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/57>
- 2014/9/13・・・第8回災害リスク管理に関するジョイント国際シンポジウム（神戸 - 神戸大学）
<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/66>

お知らせ

- ◆ 土木学会誌の特集記事の概要を JSCE の website（英語版）にアップしました。
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆ 土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No. 37 が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>
- ◆ 土木学会創立 100 周年記念切手が 9 月 1 日に発行されます。
<http://jsce100.com/node/250>

購読申し込み

国際センター通信購読の申し込みは以下の URL よりお願いいたします。また、周囲の方に国際センター通信をご紹介いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

「国際センター通信配信希望者 登録フォーム」

- ・日本語版：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>
- ・英語版：<http://www.jsce-int.org/node/150>

◆掲載記事募集します◆

国際センター通信では、会員の皆様から幅広く投稿記事を募集しています。テーマはプロジェクト紹介、技術紹介、ご自身の体験談などです。文字数は800字程度で和文または英文でご投稿ください。

記事投稿の詳細はコチラ>>> (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/47>)

Yの独り言

お知らせです！インドネシア分会のオフィスがジャカルタに開設されました。場所は、インドネシア - 日本JVプロジェクトのオフィス内です。これまで種々の事情から、インドネシア分会は休眠中でして、会員もいなくなっていました。スタント分会長（ジャカルタ特別区副知事）は、曾根インドネシアグループリーダーとともに、やる気いっぱいです。意思、知恵、ビジョン、そして行動力のあるお二人です。何か起きるような気がします。

ジャカルタに行く機会がありましたら、ぜひお二人にご連絡してください。

インドネシアオフィス（鈴木分会幹事長）：

Jl. Karet Pasar Baru Barat VII Rt. 009/03 Kel. Karet Tengsin Lec., Taanh Abang Jakarta Pusat.

C/o Construction of Jakarta Mass Rapid Transit Project

磯島茂元理事、小野武彦第100代土木学会会長には、オフィス開設にあたりご協力・ご支援を頂きましたことに深くお礼申し上げます。ありがとうございます。

【ご意見・ご質問】：JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。

